

Title	独逸大銀行の発達 (上)
Sub Title	
Author	林屋, 友次郎
Publisher	三田学会
Publication year	1914
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.8, No.4 (1914. 5) ,p.460(90)- 480(100)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19140501-0090

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

院は愛蘭自治法案を議決す可からずと唱道せられたるの類なり。此の種の議論は漸次勢を得つつあるが、之が論理的結果としては唯だ一あるのみ。曰く或種の人民投票を行ふ事是れなり。人民投票 (Referendum) とは代議政治の主義を廢して直接なる民主政治の主義を以てせむとするものなり。人民投票に種々の形式あれども要する格段なる問題に對する選舉人の意思を直接に決定する一個の方法に外ならず、瑞西に於ては此の主義に大に擴張せられて、選舉人には實に否認の權利あるのみならず、之れより迥に重大なる法律發案の權能をも與へられたり。即ち瑞西の選舉人は立法院が提供したる法律案に對して可否を表する權利を有すると共に又實際立法院に法律案を提出する權利をも有するなり。本來英國にては人民投票を以て憲法上の行き惱を解決し、若くは兩院間に踏る係争の問題を決定する一個の方法として、多數人士の賛成を博

したりき。斯る見地より見るときは此の方法を推奨す可きが如し。然りと雖も之が究極の結果を適當に思料せずして、輕々しく採用す可きに非ず。人民投票は疑もなく代議政治と全然相反して、直接民主政治に向て一步を轉ずるものなり。此の如き方法として、或は之を歓迎す可く或は之を排斥す可きも、要するに、賛成者も反對者も均しく、此の方法を採用して起り得べき極めて重大なる結果に就て、豫め充分考量を費さざる可からず。

獨逸大銀行の發達 (上)

林屋友次郎

一 一八七〇年の私人銀行

三十年戦役後廢額の極に達したる獨逸經濟社會は百年の努力空しく再び佛國革命の影響を受け

久しく一陽の來復を望んで得ず國內には聯邦分立して經濟的障壁を設け國民經濟の發達を妨げたり。隨て大規模金融機關の活動の餘地なく一八七〇年普佛戰爭の當時に至る迄銀行業務は纔かに私人銀行によりて經營せらるゝに過ぎりき。然るに十九世紀の中葉以來蒸氣の應用に伴ふ交通機關並に工業組織の變革並に關稅同盟に基く統一的經濟區域の創設は壺中の安を偷みたる經濟社會に一大刺戟を與へ世界的商業の建設と大工業の發達に對する熱望を醸成せり。茲に於て新企業を建設して運轉せんが爲めに資本並に信用に對する需要日に緊切を加ふるに至りたるも獨逸は英國の如き先進國に比して資本の存在量數籌を輸するのみならず保守的國民は新事業の投資を危険視して顧みず、資本の調達信用の供給共に金融機關の援助に待つこと大なる恰も大千に雲霓を望むの感を有したり。勿論在來の私人銀行中にも相當の資力と經營的

手腕を兼ねたるものなきにあらざるも私人の資力には自ら制限あるを免れず之を以て飽くことを知らざる需要を充さんこと大海の一粟にも比すべく畢竟新時代の要求に適合すべき組織を求めて其調和を計らざる可らざるに至れり。今日獨逸金融業者として名聲を世界に馳する「メンデルゾーン」商會「ブライヒローグ」「デルブルック、レオ」商會「エム、エム、ワイブルグ」商會等何れも其當時以來連綿せる有力私人銀行にして獨逸金融界を風靡したる株式銀行と角逐して敢て遜色を示せざりしものなり。其他「フランクフルト」の「ヨハンメルデンス」の如きも一六〇五年の創立に係り現存私人銀行中の最古のものに屬し充分なる資力と信用とを擁して商業銀行として其全力を傾注せり。等しく「フランクフルト」銀行中「ナツフビル」商會「ジンゴールグエメ」商會「メツツレル」商會「ベートマン」商會の如き何れも十七世紀後半の設立に係るも

のなり。

彼の「メイヤ、アンスレム、ロスチャイルド」が「フランクフルト」に有名なる「ロスチャイルド」商會を創設したるは一七八〇年の頃にして丁抹公債四百萬ターレル(百五十萬磅)の引受以來實際金融業者として嚴然濟輩に頭角を顯すに至れり。彼の五子中長男が宗家を繼承したる外自餘の四子は悉く海外に出て維也納、マンチエスタ、ネーブルス「巴里に分家したり。其後マンチエスター家は倫敦に移りネーブルス家は一八七一年に廢絶し、フランクフルト家亦「ウイールヘルム、カール」の死後男系の相續者なく一九〇一年前プロシア大藏大臣「ハンズマン」の主宰せる「デイスコントゲゼルシャフト」に一切の業務を委ぬるに至れり。

伯林に於ては「シュクル」の一七二二年を最古とし「メンデルゾーン」(一七九五年)「アライシユロータ」(一八〇三年)等を數へ、ブレスローの「エンケル」商會(一六七九年)「アイヒポルン」(一七二八年)漢堡の「ジョン、マールンヘルヒ、グロツスレル」

銀行、商業、割引銀行獨逸商工業銀行、中獨逸信用銀行、是なり。茲に株式銀行とは私人銀行に對し株式組織なる故を以て名付けられたるものなれども其實質に至りては全く他國に類例を見ざる廣汎複雑なる營業を營むにありて最も分業的に局限せられたる預金銀行が英國銀行の典型たるが如く最も包括的業務を營む株式銀行も亦獨逸金融市場の特産物たらざる可らず。普通株式銀行の營業課目とする所は英國預金金の主要業務たる預金割引貸付の外商工業資金の調達爲替手形の引受の如き信用業務外國爲替有價證券の賣買より英國銀行の如き最も危険視して接近せざる手形金銀の「アービトラージ」或は公債社債の發行引受、工業會社に對する投資、設立、新舊會社の管理經營等凡そ金融事項に關する一切の業務にして手を染めざるものなし。私人銀行の業務も原則としては株式銀行と等しく預金貸付の業務より一切の包括的業務を取扱

商會(一七六九年)ワブルグ商會(一七九八年)ドンネル商會(一七九八年)ベレンウントグーヌ商會(一八〇〇年)「ケルン」の「スライン」商會(一七二九年)「ワッサーマン」(一七八二年)等は現存私人銀行中最も有力なるものに屬す。

自餘の私人銀行に至りては普佛戰捷後株式銀行の勃興と共に漸時其勢力を失ひ遂には株式銀行と合併し或は其組織を變更して一般株主を入れ株式銀行となり伯林のみにて普佛戰爭當時六百有餘行を算したる私人銀行は現今に於て二百の餘を數ふるに過ぎずと云へり。

二 株式銀行

現今獨逸金融市場に於て最も重要なる地位を占むるものは所謂株式銀行と稱するものにして株式銀行中資本金五千馬克以上にして其勢力最も大なるものを擧ぐれば左の九行とす。

獨逸銀行、割引會社、柏林商會社、シヤフハウゼン銀行、「ドレスデン」銀行、獨逸國立

ふを得べきは勿論なれども私人銀行は英國と等しく決算報告を公表する義務を有せざるが故に私人銀行が果して如何なる程度の活動を營むやを知るに由なきも其規模の狭小なる結果到底株式銀行と拮抗すること困難なるが如し。殊に「メンデルゾーン」、「ブライヒローダ」、「デルブルク」、「ワイブルグ」の如き資力豊富なる私人銀行は徒に營業の範圍を膨大して株式銀行と角逐するを避け主として有價證券の發行引受の如き金融業務に其全力を傾注せり。是れ私人銀行旺盛時代に於ては國民經濟の趨勢未だ資本主義的傾向を帶ぶること尠く有價證券の賣買は投機にあらずして寧ろ投資の目的を有したり。加ふるに歐洲の各國は共に紛亂絶ゆることなく政府は財政窮迫の結果募債に際して比較的有利の條件を附したるが爲め公債の引受は資力豊富なる私人銀行を驅りて茲に向はしめたるものと云ふべく殊に募債に關しては一種の獵場なるもの存在し

て一種の株に異ならざれば斯る史的長所を有する私人銀所が殊更資力を割きて規模の點に一籌を輸する株式銀行の跡を倣はんとするは決して賢明なる方針と謂ひ難かりしなり。

而して獨逸株式銀行が斯の如き包括的業務を兼營するに至りたる所以を索ぬるに英國の如き金融市場の發達遠く市場の機關各其沿革に據りて分業的發達を遂げ預金銀行殖民地銀行商人銀行割引商會金融會社株式手形の仲買人等金融機關として各方面に殆ど間然する所なく加之商業資金の需要も亦舊來企業の改良費或は漸時的擴張費を補給するを以て足ると異なり金融機關の發達遅々として進まず貧弱なる富力と幼稚なる商工業を提げて激かに蒸汽、鐵道の時代に遭遇し激烈なる國際競争の圈内に参加したるが爲めに到底英國の如き分業的機關の自然的發達を俟つ暇なかりしこそ株式銀行の如き特種機關を發生するに至らしめたる原因なれ。

し。然れども斯る特殊の關係たる銀行の規模狭少にして地方的傾向を脱せざる間に於てのみ行はるべきものといふべし。

現今株式銀行により行はるゝ信用供給の方法は斯る個人的方法によらず主として爲替手形引受の方法を採用し一定の内規の下に有價證券の如き一定の流動的擔保を徴收して私人銀行に見たる如き人と場合とに依りて貸付を諾否することなし。此爲替手形の引受と普通貸付と異なる點は銀行は單に顧客に對して自己の信用名聲を貸與するのみにして直接現金を貸與するものにあらざるが上に今日銀行が此方法に依りて供給する信用の額は夥しき額に上り獨逸銀行ドレステン銀行割引會社等の手形引受額は拂込資本額を遙かに超過せり、されば往々世人の誤解して信用の供給を以て資本の創造なりとなすものなきにあらざれども是畢竟資本の振替に過ぎざるは茲に甲なる銀行が乙なる顧客の爲めに一千馬克の

而して經濟發達の益々進歩するに伴れ固定資金流動資金に對する長期信用資金の一時的適合を調節すべき短期信用の供給を一層擴張せしむる必要を存したりと雖も獨逸に於ては既に不完全ながらも動産銀行の存在したるあり私人銀行株式銀行共に亦比較的工業界に對して寛厚なりし爲め長期信用の供給に對し焦眉の急を感ずるが如きことあらざりしも商業界の發展に對して必要缺く可らざる短期信用の供給は之に反し最も緊切の程度著しかりしもの、一なり。

短期信用の供給は私人銀行に於ても主要業務の一に數へ時に手形引受の方法によりて信用の供給をなしたる例なきに非るも由來私人銀行と顧客との關係たる株式銀行に比して個人的色彩を帶ぶる事深く銀行業者の意思を左右するものは一に個人的印象と經驗に外ならず。隨て其長所とする所兩者の關係親密にして顧客にして一度信用を博せんか銀行は常に其援助を辭せざるべ

手形を引受けたりとするも別に資金を固定するの必要なきは勿論なりと雖此手形を割引すべき丙なる銀行が甲銀行に代りて投資の任に當らざる可らざるや明かなり。

然れども銀行が一度其引受を許容して手形に自己の署名をなす時は期日に於て顧客が支拂資金を提供すると否とに拘らず當然支拂の責任を負擔せざる可らず。勢ひ銀行が手形引受によりて信用を供給せんとするには引當に對して充分なる擔保と顧客の資産信用に重きを置くに至るは當然にして其結果其利益に均霑するものは資力豊富なる商人會社に限定せらるゝこと亦已むを得ざる所なり。

されば株式銀行の勃興と共に私人銀行の個人的信用に慣れたる小商人の怨嗟の聲を聞くこと勘からざれども元來短期信用の性質たる將來回收の確實なる一時的資金の不適合を調節すべき等のものにして銀行が之に依りて商工業者の流動資

金を供給せんとするは銀行營業の基礎を不安ならしむるものといふべく殊に在來の私人銀行の如く徒らに個人に信用を許容するの弊は彼等をして必要なる流動資金を準備せずして常に銀行に依頼せんとする惡風潮を醸し一朝恐慌の襲來するに及びては彼我共に非常なる不幸に遭遇せざれば止まざるべし。

三 株式銀行設立時代

株式組織の大銀行は何れも一八五〇年前後の設立に係るものにして設立の最も古きものは「ケルン」の「シヤフハウゼン」銀行組合にして一八四八年同名の私人銀行の營業を繼承して千五百萬馬克の資本金を以て營業を開始し「ダムステット」の「ダムステット」銀行は資本金千七百萬馬克を以て獨逸工業の發達に貢獻せんとする目的を以て一八五三年に設立せられ別に「商工銀行」の名あり。マイニンゲンの中獨逸信用銀行

は一八五六年に創立せられ、伯林に於ては「割引會社」は一八五一年前普魯西亞大藏大臣ダビッド、ハンズマンの創立になり一八五六年株式組織に變更し資本金三千萬馬克を以て特に割引に依り信用を供給せんとして此名稱あり。後ロスタヤイルド家の營業を繼承して一大發展の基礎を作りたり。伯林商會社は一八五六年資本金千五百萬馬克にて商工業の發達特に株式會社の設立を奨勵せしが爲めに設立せられたり。其他來府、漢堡、フランクフルト等に於て設立せられたる株式銀行尠からざれども當時此等の諸銀行の營業、資本等が現時の隆盛に比較して殆ど隔世の感あり。試に上記諸銀行に就きて設立當時と現在の資本類を對照すれば次の如し。

割引會社	設立當時	百萬馬克	現在	百萬馬克
商工銀行	一七〇		一七〇	
シヤフハウゼン銀行	一七		一六〇	
伯林商會社	一五		一三〇	
	一六		一一〇	

然れども株式銀行の設立に對して一時期を劃したるは一八七〇年普佛戰爭以後にして此年に於ては獨逸銀行及び商業割引銀行設立せられ一八七二年に至り、ドレスデン銀行設立せらる。此時期は普佛戰捷の結果五十億法の償金を獲得し國內の富力急激に増加して企業熱其絶頂に達し隨て銀行設立熱又最も旺盛を極め新銀行の設立數ふるに暇なかりしと雖其反動として一八七三年後來襲したる恐慌期六年間に破産の運命に遭遇したるもの夥しく行數に於て實に七十三行資本額二千五百五十萬磅の多きを算せり。

現在の資本金類二億馬克にして資本金の大なること「ドレスデン」銀行と共に株式銀行中の自眉たる獨逸銀行は一八七〇年僅に千五百萬馬克の資本金を以て創立せられたり。而して當時既に存在せる「シヤフハウゼン」銀行、商工銀行、伯林商業會社の如き一流の株式銀行の營業方針が何れも工業及び鐵道會社の利便を

計るに偏重し商業界の發展に對する責任を闕却せるに當り獨逸銀行の當初よりの營業方針と定めたる所は已に同年末營業報告中に明言せる如く「當行の目的とする所は一切の銀行業務を營むと共に獨逸と歐洲其他の海外市場間に於ける商業干係の振興を計り之に利便を提供せんとするにあり」と謂ひて銀行營業の上に一新機軸を劃せり。然るに此新方針の執行も開業後間もなく普佛戰爭の勃發となり一頓挫を來すの已むなきに至りたるも一面に於ては當時設立中の倫敦獨逸銀行と相提携し同期末營業の成績の如きも取引總額四千萬馬克割引手形數五千五百二十二件三千萬馬克純益金二十四萬馬克を擧ぐるを得たるは當事者の熱心なる努力に歸せざる可らず。海外業務の根柢たる短期信用の膨脹は延て其資金の需要を増加し之を需むるの手段として預金吸收策に全力を傾注したること最も注目し値する所にして預金期限の長短に従ひて一分乃至三

分五厘の利息を附したるが如き漸次他の諸銀行の模倣する所となれり。

此方法に依りて當行の吸収し得たる資金は一昨三千三百萬馬克の巨額に達したるも國民の未だ銀行取引の利益を解するもの尠く同年末に至る迄に殆ど全部の引出に遭ひ剩す所僅かに六萬馬克に過ぎりしといふ。然れども此缺陷も新に開始せられたる小切手取引の發達と相俟ちて交互計算取引の發達を來し顧客と銀行と共に其利益に浴すべしとの希望を現せり。而して次年度に於ては更に一層の發展を遂げ「ブレメン」に支店を設け、十五萬磅の投資をなせる倫敦獨逸銀行は既に開業の運に至り更に横濱上海支店の企畫を見漸時當初の目的に向て進捗せり。

同年十二月ドレスデン銀行設立する同行は九百六十萬馬克の資本金を以て「ザツクセン」の首府ドレスデンに初めて營業を開始し同國の金融を支配すると共に特に手形株式の賣買に従事せり。

金融事務を取扱ふに至る時は輸出入手形の引受其他爲替業務を簡易直接に處理するを得て自國商業の發展上甚大の貢獻を與ふるのみならず銀行自身に取りても之と關連して自ら預金吸收其他の利便に浴すること尠からず。

んとする目的を有したり。然るに一八八一年柏林支店の設置以來非常なる發展を遂げ「ドレスデン」本店は單に名義上に止め柏林支店は事實上一切の事務を總轄するの地位に立ち在來の柏林諸銀行との間に激烈なる競争を開始し一九〇三年に「シヤーフハウゼン」銀行組合と聯合を決議し其翌年より實施したるが爲兩行の資本を合算する時は二億二千萬馬克に上り當時最大の資本額を有したる獨逸銀行の資本を超過すること一億馬克にして一時獨逸銀行界に覇を稱したりしも不幸にして一九〇八年兩行利害の衝突あり遂に分離するに至れり。

四 海外取引の發達

海外取引の進捗は獨逸銀行設立當初よりの方針にして已に倫敦獨逸銀行に對して多額の投資をなし横濱上海等に支店設置を見たること曩に述べたるが如し。銀行が海外に支店を設置し國際

に至り該行との關係を解きて新に支店を設置したり。

其他獨逸海外銀行、中央亞米利加銀行、獨逸東亞弗利加銀行の如き諸銀行に投資をなし以て密接の干係を結び一九〇九年には「コンスタンチノーブル」及び「ブラツセル」に支店を設けたり。ドレスデン銀行亦海外取引の組織的發達を計畫するに至り一八九二年先づ漢堡英獨銀行を合併して支店となし一八九五年ブレメンに一九〇一年倫敦に支店を設け近年に至りては巴里の「セー、アルラード」商會に尠からざる投資をなせるが如く他の會社と協力して獨逸南米銀行及び獨逸東洋銀行の設立をなせり。

割引會社は一八七三年後に獨逸銀行に賣却したる「ライプラタ」銀行の發起をなし一八八〇年に於ける獨逸商業殖民會社の組織改造及び六百萬馬克の資本を有する「ニユギニア」會社の設立に助力を與へ一八八七年に亦漢堡の北獨逸銀

行と合同して一千萬馬克の「ブラジル」銀行を建設したり。其他「ベノスアイレス」の「トロッキスト」商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、パレー」商會と提携するに至り、智利獨逸銀行の如きも一八九五年一千萬馬克の資本金を以て同行の監督の下に設立せられたるものなり。此外尙伊太利自耳義羅馬尼亞ブルガリア等に於ける銀行或は工業會社に對し勘からざる投資をなせり。只一九〇〇年に至る迄倫敦に自行の支店を設けることをなさざりき。

獨逸株式諸銀行が海外取引に對し如何に其力を傾注せるかは倫敦に於ける國際爲替手形引受業務の成績に徴するも獨逸銀行「ドレスデン」銀行の如き諸銀行倫敦支店に於ける手形引受額は之を專業とせる商人銀行に劣らざる金額を示し徒に在來の經路を辿りて保守的營業を營むを以て特色としたる英國預金銀行が漸次國際手形引受の如き海外取引に染手するの餘義なきに至りた

る最大動機は外國銀行殊に獨逸諸銀行の壓迫によるものと稱せらるを見れば其發展の一端を知るを得べし。(未完)

英獨市政比較論 (其の二)

村田岩次郎

英國々會の都市に臨むや、猶封建諸侯の所領に對するが如く、都市に關する法律も市民及び都市の自由よりは、寧ろ特權の設定維持を眼目としたのであつた。議會は都市の要求を容るゝに吝かであると同時に、議員の財産の保護に重きを置き、之が爲めには所有ゆる手段を講じ、所有ゆる方法を廻らしたのである。

十九世紀中幾多の大都會は大地主の所有地内に發生したのであるが、現に今日、貴族院を支配し、庶民院に於て亦相當の地歩を占めて居る地

主階級は、英國內の土地の殆んど全部を所有し大多數の人民から地代を徴して居るのである。市の住民は貧富を問はず、一様に借地人である彼等の家や工場や事務所の建てられて居る土地は彼等自身の所有地ではない、彼等は恰も紐育の「アストア」家の所有地内に於ける借地人の様な者である。英國が未だ純然たる農業國であつた時代の土地所有者の子孫が今日尙依然として其土地を所有して居る。而して此の一事は英國の貴族が飽くまでも富裕で有り、爾餘の者が飽くまでも貧困で有る事情を説明するに足るのである。土地獨占の制度及び地主階級の政治的勢力を慮外に置いて英國の都市を了解することは出来ぬ。

土地獨占の範圍は殆んど信じ難い程である。聯合王國內の土地の四分の一は實に僅々千二百名の大地主が獨占して居る。而して六千二百名の

大地主は更に他の四分の一を獨占し、爾餘の土地は三十一萬二千五百五十名の地主の所有する所である。驚くではないか、僅か二十二名の大地主が實に四百五十萬英加の廣大なる土地を所有し、人口七百萬を算する倫敦の土地の過半は九名の大地主が獨占して居るのである。斯くの如くして都市は大地主の所有地内に發達し、地主連は額に汗せずして、借地人は殖え、地代の收入は益々増加すると云ふ順境に身を置いたのである。

貴族の所有地は世襲財産として保護せられ、所有者自身が望むも之を賣飛ばすとは出来ぬ。又一般の慣習上、借地人が土地に加へた改良は賃貸期限の満了と共に無償にて地主の手に歸することになつて居る。斯くして地主連は借地人の加へた土地改良の結果を横取りして、賃貸契約の更改に際しては地代を引上げること努める